内 小 学



子どもの学びを促進する 仲介する

校長見原 仁

ある日、私は、6年生の理科の授業を見ていました。

Aさんは、てこがつり合うきまりを見つけようと、友達が調べた 右のうでと左のうでのおもりの数を記録していました。そこから、 何かきまりはないか、一生懸命考えていましたが、きまりを見つけ ることはできなかったように見えました。最後に、先生が問題を出 しました。Aさんは、何とか答えを導き出しました。しかし、向か いに座るBさんの考えを聞くと、自分の考えと違っていました。そ こで、Aさんは少し考え込みましたが、最終的に自分の考えも正し い、と気付き、その授業を終えました。この問題は、答えが一通り ではないことが分かったのです。



第6号 村上市立保内小学校 強い力 豊かな心

〒959−3107

村上市下鍜冶屋 264-2 0254-62-2302 TEL 0254-62-5553 FAX school@honai-e.murakami.ed.in

別の日に、ある学級の算数の授業で、子ども同士の学び合いの様子を見ていました。C さんはDさんに、問題の解き方を尋ねています。Dさんが「○○ってやるといいよ」と伝 えると、Cさんは「えっ、どうして?」とDさんに聞きます。Dさんは「□□だからだ よ」と伝えると、Cさんは「あっ、そっか」と納得します。そのやりとりが何度も繰り返 されていました。

私は、子どもたちが、本当に素晴らしい学び方をしているなぁ、と感じました。今、学 校では、教師は子どもに教える役割が中心ではありません。教師は、指導者ではなく「促 進者(ファシリテーター)、仲介者(メディエーター)」の役割が重要視されています。 子どもが主体的に学ぶように教師が導く、また、子どもが自ら道を創り、その上を自主的 に歩くように支援する、このような役割を担っているのです。その視点で考えると、上記 の2つの例は、子ども同士が関わりながら、学びを進めたり、深めたりしていますが、 その支援を教師がどこかで行っているのです。

保内小学校では、担任及び他の教員も、授業を他の職員に参観してもらい、良い点や改 善点を話し合い、今後の授業に生かす研修を行っています。そこでは、子どもの学習意欲 を高めるための課題はどうすればよいか、子どもたちが関わり合いながら学ぶための教師 の手立てはどうすればよいか、などを中心に研修しています。

つまり、教師が指示した問いを解くのではなく、提示した問いに疑問や関心をもたせ、 解決へのエネルギーを高め、そして、それを友達と関わりながら解決しよう、その道筋を 研修しているのです。さらに、一人一台のタブレットを効果的に活用し、自分の考えをよ り強固にするために調べたり、友達の考えを知るために活用したりするなど、個の学びの 支援とともに、友達との関わりを支援するツールとして活用しています。

このような研修を続けていますが、授業の質を高めることは決して容易ではありませ ん。しかし、あきらめず粘り強く、さらなる授業改善を進めていきます。

5年生が自然教室に行ってきました



9月18日(木)、19日(金)の2日間、5年生が新潟県少年自然の家へ自然教室に行ってきました。

入所の集いの後は、野外炊さんです。カレーとご飯を作りました。かまどで火をおこす係と、材料を切る係に分かれ、それぞれ準備をしました。一生懸命みんなで準備をしたおかげで、どの班もおいしくできました。また、後片付けも上手にできました。

次は、グランドゴルフの予定でしたが、天候が心配されたため、館内チャレンジを行いました。指示された内容を、活動班の友達と一緒に協力してクリアしました。

その後、夕食を食べて、キャンプファイアーを行いました。

第 I 部は「迎え火の集い」です。静かな雰囲気の中で、火の神の言葉を聞き、火の守が 点火をしたり、誓いの言葉を述べたりしました。第 2 部は「交歓の集い」です。友達と一 緒に「マイムマイム」を踊ったり、ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしました。第

3部は「送り火の集い」です。勢いよく燃えていた火が静かに小さくなる様子を見つめな がら一日を振り返り、今日の体験を今後の生活に生かすことを誓いました。

19日(金)は、まず、カヌーを体験しました。幸い天気も回復し、絶好のカヌー日和と なりました。パドルの動かし方の練習をしてから、カヌーに乗り込みました。想像以上に 子どもたちは上手にカヌーを操っていました。カヌーに長い時間乗ることができ、大満足 の子どもたちでした。

解散式では、疲れた表情が見られましたが、子どもの感想発表からは、充実した2日間 を過ごした様子が伝わってきました。

2日間の活動が充実し、無事に終えられたことを本当にありがたく思っています。子ど もたちの準備にご協力いただいた保護者、ご家族の皆様に深く感謝申し上げます。

6年生が村上市岩船郡小学校陸上記録会に参加しました







9月26日(金)に、6年生が、パルパーク神林で行われた村上市岩船郡小学校陸上記録 会に参加しました。すべての子どもたちが、自己ベストを目指して精一杯競技しました。 競技する友達を一生懸命応援する姿もたくさん見られました。保内小学校は、7つの種目 で9名の選手が入賞しました。下記に紹介します。おめでとうございます。

秋晴れのもと、爽やかな心地よい疲れを感じることができた6年生でした。競技の応援 にお越しいただいた保護者、ご家族の皆様本当にありがとうございました。

- ◎ 令和7年度 小学生「人権標語コンテスト」
 - 優秀賞 6年 清野 咲愛 「頑張りは 誰かが見てるよ 絶対に」
 - 佳 作 6年 佐藤 愛奈 「ありがとう 笑顔になれる その言葉」
- ◎ 第 16 回 村上市岩船郡小学校陸上記録会
 - 80 mハードル 男子 第4位 渡邉 修也 16秒4

女子 第3位 渡邊 花乃 17秒7

女子 第3位 長島 愛麗 17秒7

- 0 1500m 男子 第6位 瀬畑 悠李 5分42秒5
- 3分3秒2 O 800m 女子 第6位 佐藤 愛奈
- 女子 第4位 榎本 葵 ○ 走り幅跳び 3 m 22 c m第6位 坂上 結菜 3 m l l c m
- 1 m 28 c m 〇 走り高跳び 男子 第2位 遠山 結士
- 400mリレー 女子 第4位 佐藤 愛奈、益子 明、 Ⅰ分5秒2

阿部 宥佳、渡辺 莉紗

全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

この調査は、全国の6年生を対象に毎年実施されるものです。今年度は4月18日に実施されました。今年度の実施教科は、国語と算数、理科の3教科でした。

この調査は「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」という目的で行われています。

また、調査結果は学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。結果についてお知らせします。

	保内小平均	新潟県平均	全国平均
国 語	7 2	6 6	66.8
算 数	5 9	5 6	5 8
理科	6 0	5 5	57. I

	苦手意識をもちやすい記述式の問題にも粘り強く取り組むことができている児
国語	童が多く見られました。今後も継続して、自分の考えが伝わるように文章を書く
	活動に力を入れていきます。その一方で、複数の資料から必要な情報を見つける
	こと、それらを基に考えることに課題が見られました。また、文章全体の構成を
	捉えて、要旨を把握することにも課題がありました。日々の授業から、文章の叙
	述を基に読み取ったり、考えを表現させたりすることに力を入れていきます。
分析算	数と計算の領域では、計算結果ではなく、どうしてそうなるのかなどの理由を
	説明する問題に課題が見られました。計算方法を理解するだけではなく、その背
	景にある考え方も身に付けることができるように日々の授業に取り組んでいきま
と 取 数 組	す。また、式や言葉を使って解答する問題において、不十分な解答になっている
	児童が多かったです。算数だけではなく、自分の言葉で分かりやすく考えを表現
	できるよう、文章を記述する機会を積極的に授業に取り入れていきます。
理	問題解決の方法を考えたり、実験の計画を構想したりすることができていたー
	方で、自然の事物・現象と知識、あるいは知識同士を相互に関係づけたり、予想
	からその理由を表現したりすることに課題が見られました。観察や実験の経験を
科	一人一人にもたせるとともに、観察・実験したことを言葉や図で表現したり、言
	葉や図から観察・実験の方法やその結果を読み取ったりする活動を通して、自然
	の事物・現象についての理解を深められるよう、授業を改善していきます。
	語 算 数 理

学力検査のほかに、学習・生活習慣についての「児童質問紙調査」も実施され、以下のような傾向が分かりました。

好ましいと考えられる項目 課題と考えられる項目 ・学校に行くことが楽しいと感じている児童が多い。 ・自己肯定感が低かったり、将来の目標を持っていなかったりする児童がいる。 ・困っている人がいたときには進んで助けると回答している児童が多い。 ・国語、算数の勉強が好きと感じている児童が少ない。 ・友達や周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題の解決に取り組んでいる児童が多い。 ・自分と違う意見について考えることのよさを充分に感じられていない。

結果から、国語、算数の学習に対する苦手意識があることが分かりました。各教科での楽しさを感じるためには、「分かった」「できた」という達成感や「そういうことか」などの新たな気付きを得た喜びが大切です。そのために、児童一人一人の考えを大切にし、自他の考えや気持ちを受け止め合いながら学ぶことのできる人間関係を育んでいきます。